

# 2009年度 環境活動報告

## 日圧電子部品株式会社

**住所** 宇都宮市清原工業団地1-1  
**設立** 1984年 4月16日  
**事業内容** 民生・産業・自動車用コネクタ製造  
**本社** 日本圧着端子製造株式会社（大阪）  
1957年 9月 9日 設立

### 規格認証

- ・品質システム ISO9001 1995年11月17日認証取得
- ・環境管理システム ISO14001 2001年 2月 6日認証取得
- ・製品安全規格 UL 、 CSA 、 TUV

### ☆環境への取り組み

日圧電子部品株式会社は、ISO14001認証取得企業として環境方針を掲げ、環境に優しい製品づくりと周辺環境に配慮した生産活動を推進しています。毎年、環境目標を設定し、省エネ・省資源・廃棄物の削減・有害化学物質の削減・廃止につながる活動を実施し、また、従業員の環境意識の向上を図るため、年1回、鬼怒川河川敷のゴミ拾い、全員参加による環境標語の社内公募、環境改善提案の推進を行っております。

当工場は、全従業員が未来につながる環境配慮型の生産工場を目指し、日々積極的に環境活動に取り組んでいます。

# 環 境 方 針

日圧電子部品株式会社は、「とちぎ」の緑あふれる自然環境と鬼怒川の豊かな水の恵みに支えられた、宇都宮市東部の広大な清原工業団地に位置し、電機・電子機器等の接続部品となる各種コネクタを生産しています。

わたしたちは、深刻化する地球環境の悪化が人類全体の問題であり、責任であることを認識し、自然と共存できる未来につながる、環境にやさしい工場を目指します。

1. ISO 14001に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、環境汚染の予防及び継続的改善を行います。
2. 私たちの企業活動および製品のもつ環境に与える影響が、お客様に満足して戴けるグリーン調達となるよう推進します。
3. 当工場の環境負荷の内、次の項目を特に重点テーマとして活動します。
  - ①電気及び紙の使用量の削減
  - ②可燃物や安定型廃棄物等の削減及びリサイクル
  - ③有害な化学物質の削減と代替化
  - ④法および条例など要求事項の順守
4. 環境マネジメントシステムは、定期的な見直しと組織で働く全ての人への環境教育、更にコミュニケーションの向上とによって積極的に推進します。

2008年 9月 22日

日圧電子部品株式会社

# 2009年度 環境活動報告

2009年4月～2010年3月

目的	活動内容	目標(前年比)	結果(前年比)
<b>省エネルギー</b>	<b>電力の削減</b>	-1.0%	-9.2%
	<b>主な施策</b> 省エネ設備の導入 エアー消費量の最適化によるコンプレッサーの消費電力削減 不要照明の間引き、エア－漏れ監視・修理 未使用照明・設備の電源管理		
<b>省資源 1</b>	<b>コピー用紙使用量削減</b>	-2.0%	-18.0%
	<b>主な施策</b> 両面コピー・縮小コピーの推進 裏紙使用の推進 両面コピー・縮小コピー・裏紙使用の社内教育		
<b>省資源 2</b>	<b>上水道使用量削減</b>	±0.0%	-29.4%
	<b>主な施策</b> 節水の呼びかけ 漏水・機器故障の早期発見 生産用上水使用量の最適化		
<b>廃棄物の削減 1</b>	<b>安定型産業廃棄物の削減</b>	-3.0%	-3.8%
	<b>主な施策</b> 材料のリサイクル 生産設備の省資源設計 分別によるリサイクル化		

目的	活動内容	目標(前年比)	結果(前年比)
廃棄物の削減 2	可燃ごみの削減	-1.0%	-14.3%
	主な施策	分別廃棄の徹底 紙類のリサイクル拡大 梱包仕様の見直し	
廃棄物の削減 3	焼却産業廃棄物の削減	-2.0%	+5.5%
	主な施策	副資材のリサイクル化 分別廃棄の徹底	
廃棄物の削減 4	ダンボールの削減	-2.0%	-2.5%
	主な施策	リユース化の拡大 通い箱化の拡大	
有害化学物質の削減	RoHS指令対応 REACH規制対応	-	-
	主な施策	禁止物質の非含有確認 全従業員への有害物質管理教育	
法・条例・協定書の順守	要求事項	結果	
栃木県生活環境等の保全に関する条例	水質測定	完了：異常なし	
	騒音・振動・悪臭測定	完了：異常なし	
省エネルギー法	定期報告	完了	
PRTR法	定期報告	完了	

# 鬼怒川ゴミ拾い（鬼怒橋～石井緑地付近）

2009年10月17日



参加人数 : 110名

# 油漏れ対応訓練

2009年11月4日



参加人数 : 25名